



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 千葉銀行
コード番号 8331 URL <https://www.chibabank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 米本 努
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 江下 亮 (TEL) 043-245-1111
配当支払開始予定日 ー
特定取引勘定設置の有無 有
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	262,602	13.2	79,722	9.8	54,533	8.7
2024年3月期第3四半期	231,809	11.6	72,570	3.8	50,129	3.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 12,783百万円 (△86.6%) 2024年3月期第3四半期 95,425百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	76.31	ー
2024年3月期第3四半期	69.27	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,980,835	1,162,816	5.2
2024年3月期	21,308,721	1,181,503	5.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,162,816百万円 2024年3月期 1,181,503百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末株式引受権－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	15.00	ー	17.00	32.00
2025年3月期	ー	18.00	ー		
2025年3月期（予想）				22.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,800	9.4	70,000	12.1	98.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当行は、2025年2月7日開催の取締役会における決議に基づき自己株式の消却を実施する予定であります。
連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の消却の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規1社 (社名) エッジテクノロジー株式会社

除外1社 (社名) ちばぎんジェーシービーカード株式会社

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	815,521,087株	2024年3月期	815,521,087株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	105,334,103株	2024年3月期	100,093,531株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	714,615,890株	2024年3月期3Q	723,652,980株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象の注記)	11
2025年3月期第3四半期決算 説明資料	12

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済をかえりみますと、物価上昇や欧米における高い金利水準の継続などの影響はあったものの、個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかに回復しています。

金融情勢をみますと、無担保コール翌日物金利は日本銀行による政策金利の引き上げにより、0.07%台から0.22%を超える水準まで上昇しました。長期国債の流通利回りは0.70%台から徐々に水準を切り上げ、その後、一時大きく低下する場面もありましたが、期末には1.00%を超える水準まで上昇しました。日経平均株価は39,000円台後半から一時32,000円を下回る水準まで下落しましたが、期末にかけては期初と同水準まで回復しました。

当行グループは、預金や貸出、為替といった金融サービスを中心とした機能的価値に加え、地域の課題解決に貢献するなどの社会的価値を提供することが企業グループとしての存在意義であると考えています。お客さま・株主・職員をはじめとするあらゆるステークホルダーと意思をともにし、地域社会の一人ひとり・一社一社に寄り添った存在であり続け、地域社会を「ステークホルダーの思いが叶う場所」にしていくため、パーパス（存在意義）を「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」と定めております。

また、パーパスのために、当行グループはビジョン（目指す姿）を「地域に寄り添う エンゲージメントバンクグループ」と定め、「お客さま・株主・職員などのステークホルダーとの深いつながりを背景とした価値提供を通じ、地域とともに成長し続ける銀行グループ」を目指してまいります。

このような金融経済環境及び経営方針のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、資金運用収益の増加を主因に、前年同期比307億92百万円増加し2,626億2百万円となりました。経常費用は、資金調達費用の増加を主因に、前年同期比236億40百万円増加し1,828億79百万円となりました。

これらの結果、経常利益は、前年同期比71億52百万円増加し797億22百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比44億4百万円増加し545億33百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

総資産の当第3四半期連結会計期間末残高は、前年度末比6,721億円増加し21兆9,808億円となりました。

主要な勘定残高といたしましては、預金は、さまざまな金融商品・サービスを品揃えし、家計のメインバンクとしてご利用いただくことを目指して活動したことから、個人預金を中心に前年度末比382億円増加し15兆9,660億円となりました。貸出金は、お客さまのお借入のニーズに積極的にお応えしたことから、前年度末比4,565億円増加し13兆1,783億円となりました。また、有価証券は、前年度末比2,851億円増加し3兆1,911億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 連結業績予想について

2024年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※なお、上記の業績予想は、現在当行が入手可能な情報及び現時点での判断、評価、事実認識に基づいた仮定を前提としております。実際の業績は、今後想定されるさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示します。

② 期末配当予想の修正について

2025年3月期の期末配当金につきましては1株あたり18円を予定しておりましたが、株主の皆さまの日頃のご支援に報いるため、4円増配し1株あたり22円に修正することといたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「2025年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	4,689,382	4,514,786
コールローン及び買入手形	391,822	409,902
債券貸借取引支払保証金	1,950	19,796
買入金銭債権	23,121	25,342
特定取引資産	12,252	18,401
金銭の信託	10,903	8,400
有価証券	2,906,067	3,191,174
貸出金	12,721,829	13,178,377
外国為替	6,084	7,897
その他資産	378,746	432,493
有形固定資産	123,612	125,036
無形固定資産	14,633	23,543
退職給付に係る資産	28,707	31,457
繰延税金資産	3,128	3,067
支払承諾見返	27,565	25,676
貸倒引当金	△31,087	△34,520
資産の部合計	21,308,721	21,980,835
負債の部		
預金	15,927,766	15,966,002
譲渡性預金	379,526	538,498
コールマネー及び売渡手形	1,499,383	1,832,020
売現先勘定	44,481	57,076
債券貸借取引受入担保金	203,429	224,094
特定取引負債	6,276	23,665
借入金	1,523,260	1,668,986
外国為替	1,171	558
社債	120,792	47,423
信託勘定借	15,564	16,711
その他負債	305,193	360,042
退職給付に係る負債	688	626
役員退職慰労引当金	192	214
睡眠預金払戻損失引当金	637	474
ポイント引当金	790	791
特別法上の引当金	24	23
繰延税金負債	60,070	44,737
再評価に係る繰延税金負債	10,401	10,393
支払承諾	27,565	25,676
負債の部合計	20,127,218	20,818,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,185	122,230
利益剰余金	796,209	825,719
自己株式	△72,800	△79,275
株主資本合計	990,662	1,013,743
その他有価証券評価差額金	159,893	113,596
繰延ヘッジ損益	16,279	20,946
土地再評価差額金	9,929	9,911
退職給付に係る調整累計額	4,738	4,617
その他の包括利益累計額合計	190,840	149,072
新株予約権	—	0
純資産の部合計	1,181,503	1,162,816
負債及び純資産の部合計	21,308,721	21,980,835

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
経常収益	231,809	262,602
資金運用収益	147,323	176,844
（うち貸出金利息）	96,706	110,834
（うち有価証券利息配当金）	37,467	47,193
信託報酬	72	63
役務取引等収益	45,398	47,748
特定取引収益	1,306	749
その他業務収益	5,402	4,420
その他経常収益	32,305	32,775
経常費用	159,239	182,879
資金調達費用	46,750	63,706
（うち預金利息）	14,177	22,993
役務取引等費用	16,253	17,730
特定取引費用	—	21
その他業務費用	5,914	2,282
営業経費	68,553	71,790
その他経常費用	21,766	27,348
経常利益	72,570	79,722
特別利益	138	2
固定資産処分益	138	2
特別損失	194	358
固定資産処分損	70	243
減損損失	124	115
税金等調整前四半期純利益	72,514	79,365
法人税、住民税及び事業税	20,812	21,882
法人税等調整額	1,573	2,950
法人税等合計	22,385	24,832
四半期純利益	50,129	54,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,129	54,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	50,129	54,533
その他の包括利益	45,296	△41,749
その他有価証券評価差額金	42,970	△46,191
繰延ヘッジ損益	2,050	4,667
退職給付に係る調整額	231	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	43	△104
四半期包括利益	95,425	12,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,425	12,783

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

ちばぎんジェーシービーカード株式会社とちばぎんカード株式会社は、2023年6月5日付で吸収合併契約を締結し、効力発生日を2024年4月1日として、ちばぎんカード株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併を実施いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間より、ちばぎんジェーシービーカード株式会社を連結の範囲から除いております。

当行は、2024年10月30日に、エッジテクノロジー株式会社の普通株式を株式公開買付けにより取得し、エッジテクノロジー株式会社を連結子会社といたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間より、エッジテクノロジー株式会社を連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご覧ください。

(会計方針の変更に関する注記)

従来、「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上しているデリバティブ取引については、時価評価による金融資産と金融負債を総額で表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「金融商品会計に関する実務指針」(移管指針第9号 2024年9月13日)に定める要件を満たす場合には、金融資産と金融負債を相殺表示する方法に変更しております。

2024年3月の金融政策決定会合にてマイナス金利政策の解除が決定されて以降、今後の金融政策の動向次第では、特定取引勘定のデリバティブ取引に関する金融資産及び金融負債の額が共に増加し、法的に有効なマスターネットティング契約により信用リスクが軽減されている実態と大きく乖離する可能性が高まっております。このため、当行では特定取引勘定に関して適切な信用リスク等に基づく内部管理体制を構築するために、デリバティブ取引の金融資産と金融負債を相殺して管理する方法に変更しております。これらの点を踏まえ、信用リスク等の状況をより適切に四半期連結財務諸表に反映することを目的に、「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上しているデリバティブ取引について、相殺表示する方法に変更したものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

なお、「その他資産」及び「その他負債」に計上しているデリバティブ取引については、「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上しているデリバティブ取引と内部管理体制において明確に区分されるため、従来どおり総額表示を適用しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、特定取引資産が15,173百万円減少、特定取引負債が15,173百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

当行グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	7,128百万円	7,706百万円
のれんの償却額	－百万円	70百万円

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

当行は、2024年10月30日に、エッジテクノロジー株式会社の普通株式10,300,198株を株式公開買付けにより取得いたしました。この結果、当行のエッジテクノロジー株式会社に対する議決権比率は95.50%に達したことから、同日付けでエッジテクノロジー株式会社を連結子会社といたしました。

また、2024年12月10日に株式売渡請求により、エッジテクノロジー株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、議決権比率が100%となったことから、エッジテクノロジー株式会社は当行の完全子会社となりました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 エッジテクノロジー株式会社

事業の内容 AIソリューションサービスの提供、AI教育サービスの提供、
AIプロダクトの開発/販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当行グループはOne to Oneマーケティングのさらなる強化、AIによる業務改革ならびにアライアンス行への展開、AIソリューションの提供も含めた「地域まるごとDX」など、既存の枠組みを大きく上回る様々なシナジーを実現できると考えています。

当行とエッジテクノロジー株式会社は、社会課題の解決を通じて自らも成長を目指すという理念や方向性が一致しており、経営資源の相互活用を行いつつ、様々な協業を通してAIを活用したDX戦略の高度化を実現することで、両社の企業価値の一層の向上に努めてまいります。

(3) 企業結合日

2024年10月30日（みなし取得日 2024年10月31日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得による子会社化

(5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前の議決権比率	0.00%
株式公開買付け実施後の議決権比率	95.50%
株式売渡請求実施後の議決権比率	100.00%

なお、当行は株式の全てを取得することを目的とした一連の株式取得を一体の取引として処理しております。

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として、株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を10月31日としているため、四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しております。このため、被取得企業の業績は当四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書には含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	9,068百万円
取得原価		9,068百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 368百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

8,436百万円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	939百万円
固定資産	50百万円
資産合計	989百万円
流動負債	357百万円
負債合計	357百万円

7. 企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

影響の概算額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（重要な後発事象の注記）

当行は、2025年2月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 10,000,000株 |
| (3) 消却予定日 | 2025年2月28日 |

2025年3月期第3四半期決算 説明資料

1. 損益の状況 (単体)

○パーパス・ビジョンの実現に向け活動してまいりました結果、業務純益（一般貸引繰入前）は前年同期比131億円増加の757億円、経常利益は前年同期比87億円増加の796億円、四半期純利益は前年同期比56億円増加の564億円となりました。

○なお、2025年3月期の業績予想に対する進捗率(純利益ベース)は80.5%と順調に推移しております。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月)		2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月)	2025年3月期 (公表値)	(参考) 2024年3月期
		前年同期比			
業 務 粗 利 益	142,768	16,863	125,905		168,210
資 金 利 益	117,289	12,700	104,588		136,673
役 務 取 引 等 利 益	22,647	1,823	20,823		30,050
特 定 取 引 利 益	732	△265	997		1,128
そ の 他 業 務 利 益	2,099	2,604	△504		357
うち国債等債券損益	△1,487	3,443	△4,931		△5,854
経費(除く臨時処理分)(△)	66,990	3,686	63,304		85,103
業務純益(一般貸引繰入前)	75,777	13,176	62,600		83,106
コア業務純益	77,265	9,732	67,532		88,961
除く投資信託解約損益	75,110	9,848	65,261		87,403
一般貸倒引当金純繰入額①(△)	1,707	1,707	—		—
業 務 純 益	74,069	11,468	62,600		83,106
臨 時 損 益	5,614	△2,760	8,374		2,974
うち不良債権処理額②(△)	4,988	4,853	134		5,896
うち貸倒引当金戻入益	—	△1,692	1,692		397
うち株式等関係損益	10,294	1,642	8,651		9,351
経 常 利 益	79,684	8,708	70,975	98,800	86,081
特 別 損 益	△353	△176	△177		△298
税引前四半期(当期)純利益	79,330	8,531	70,798		85,783
法 人 税 等 合 計 (△)	22,919	2,836	20,082		25,212
四 半 期 (当 期) 純 利 益	56,410	5,695	50,715	70,000	60,571
与信関係費用(①+②)(△)	6,696	6,561	134		5,896

注. コア業務純益=業務純益(一般貸引繰入前) - 国債等債券損益

2. 損益の状況 (連結)

○経常利益は前年同期比71億円増加の797億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比44億円増加の545億円となりました。

○なお、2025年3月期の業績予想に対する進捗率(純利益ベース)は77.9%と順調に推移しております。

<連結損益計算書ベース>

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月)		2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月)	2025年3月期 (公表値)	(参考) 2024年3月期
		前年同期比			
連結粗利益	146,086	15,500	130,585		175,410
資金利益	113,138	12,564	100,573		132,646
役務取引等利益	30,081	863	29,217		40,958
特定取引利益	728	△578	1,306		1,438
その他業務利益	2,138	2,650	△512		368
営業経費(△)	71,790	3,236	68,553		92,225
与信関係費用(△)	7,229	6,246	983		6,661
一般貸倒引当金純繰入額(△)	1,798	1,798	—		43
不良債権処理額(△)	5,430	4,447	983		6,617
株式等関係損益	10,895	1,255	9,639		11,177
持分法による投資損益	114	△74	189		462
その他	1,646	△46	1,693		2,098
経常利益	79,722	7,152	72,570	98,800	90,262
特別損益	△356	△300	△56		405
税金等調整前 四半期(当期)純利益	79,365	6,851	72,514		90,668
法人税等合計(△)	24,832	2,446	22,385		28,227
四半期(当期)純利益	54,533	4,404	50,129		62,440
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	54,533	4,404	50,129	70,000	62,440
連結業務純益 (一般貸引繰入前)	80,837	12,421	68,416		91,745
連結業務純益	79,038	10,622	68,416		91,701

注1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社粗利益 - 子会社営業経費 - 一般貸倒引当金純繰入額 - 内部取引

3. 貸出金・預金の残高（単体）

○貸出金は、事業者向け貸出の増加を主因に、前年同期末比5,240億円増加の13兆2,266億円となりました。
 ○預金は、個人預金の増加を主因に、前年同期末比4,525億円増加の15兆9,845億円となりました。

(単位：億円)

	2024年12月末			2023年12月末	2024年9月末
	2023年12月末比	2024年9月末比			
貸出金（末残）	132,266	5,240	1,811	127,025	130,454
国内向け貸出	127,307	3,984	971	123,323	126,336
事業者向け貸出	80,487	4,120	1,082	76,367	79,405
消費者ローン	43,014	850	237	42,164	42,777
うち住宅ローン	40,748	695	205	40,053	40,543
公共向け貸出	3,805	△985	△348	4,791	4,153
うち中小企業等貸出 (中小企業等貸出比率)	106,090 (83.33%)	4,128 (0.65%)	805 (△0.00%)	101,961 (82.67%)	105,285 (83.33%)
海外向け貸出	4,958	1,255	840	3,702	4,117
預金（末残）	159,845	4,525	1,547	155,320	158,298
国内	155,081	3,313	879	151,767	154,201
個人	115,209	2,493	2,166	112,716	113,042
法人	32,397	922	△352	31,475	32,750
公共	7,474	△101	△934	7,576	8,408
海外店等	4,764	1,211	667	3,553	4,097

注. 中小企業等貸出比率＝中小企業等貸出／国内向け貸出

(単位：億円)

	2025年3月期			2024年3月期	2025年3月期
	第3四半期 (9ヵ月)	第3四半期比	中間期比		
貸出金（平残）	129,791	5,817	1,230	123,973	128,560
預金（平残）	158,600	4,895	144	153,705	158,456

(参考) 投資信託等

(単位：億円)

	2024年12月末			2023年12月末	2024年9月末
	2023年12月末比	2024年9月末比			
投資信託残高	4,453	481	155	3,971	4,297

(単位：億円)

	2024年12月末			2023年12月末	2024年9月末
	2023年12月末比	2024年9月末比			
個人年金保険等残高	9,270	325	291	8,945	8,978

4. 利鞘（国内業務部門）（単体）

（単位：％）

	2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月)		2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月)	(参考) 2024年3月期
		前年同期比		
(1) 資金運用利回 (A)	0.80	△0.02	0.82	0.80
貸出金利回 (B)	0.93	0.06	0.86	0.87
有価証券利回	1.64	△0.09	1.73	1.52
(2) 資金調達原価 (C)	0.50	0.03	0.46	0.46
預金等利回 (D)	0.04	0.04	0.00	0.00
経費率	0.54	0.01	0.52	0.52
(3) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.30	△0.06	0.36	0.34
預貸金利差 (B)－(D)	0.89	0.03	0.86	0.87

注. (3) については、(1) 及び (2) で計算した小数点第2位未満切捨後の数値を差引し算出しております。

5. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権（単体・連結）

【単体】

（単位：百万円、％）

	2024年12月末		2024年9月末	(参考) 2023年12月末
		2024年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,213	△473	18,686	18,244
危険債権	50,300	△1,764	52,065	52,592
要管理債権	54,648	2,056	52,591	44,549
三月以上延滞債権	2,141	△543	2,685	645
貸出条件緩和債権	52,506	2,600	49,906	43,903
合計	123,161	△181	123,343	115,386

正常債権	13,178,211	184,527	12,993,683	12,669,574
総与信残高	13,301,373	184,346	13,117,026	12,784,961
不良債権比率	0.92	△0.01	0.94	0.90

注. 総与信残高: 貸出金、外国為替、その他資産中の未収利息及び仮払金、支払承諾、有価証券中の当行保証付私募社債。
なお、当行保証付私募社債については時価で計上しております。

【連結】

（単位：百万円、％）

	2024年12月末		2024年9月末	(参考) 2023年12月末
		2024年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,720	352	17,368	17,096
危険債権	50,444	△1,768	52,212	52,790
要管理債権	54,657	2,059	52,598	44,558
三月以上延滞債権	2,141	△543	2,685	645
貸出条件緩和債権	52,516	2,602	49,913	43,912
合計	122,822	643	122,179	114,445

正常債権	13,132,687	182,665	12,950,021	12,627,104
総与信残高	13,255,510	183,309	13,072,200	12,741,550
不良債権比率	0.92	△0.00	0.93	0.89

6. 有価証券の状況

(1) 時価のある有価証券の評価差額・含み損益 (単体・連結)

【単体】

(単位：億円)

	2024年12月末				2024年9月末			
	時価	評価差額・含み損益			時価	評価差額・含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	15	△0	—	0	14	△0	—	0
その他有価証券	30,867	1,402	2,655	1,253	29,514	1,751	2,592	841
株式	2,893	2,129	2,134	4	2,815	2,046	2,051	5
債券*	13,315	△565	0	566	13,180	△395	6	402
その他	14,658	△161	521	682	13,518	100	533	433
うち外国債券*	8,042	△371	26	397	7,189	△112	94	206

【連結】

(単位：億円)

	2024年12月末				2024年9月末			
	時価	評価差額・含み損益			時価	評価差額・含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	15	△0	—	0	14	△0	—	0
その他有価証券	31,126	1,624	2,878	1,253	29,780	1,979	2,820	841
株式	3,125	2,344	2,348	4	3,053	2,267	2,272	5
債券*	13,315	△565	0	566	13,180	△395	6	402
その他	14,685	△154	528	682	13,545	107	541	433
うち外国債券*	8,042	△371	26	397	7,189	△112	94	206

注1. 「評価差額・含み損益」は、満期保有目的の有価証券については(連結)貸借対照表計上額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を、その他有価証券については(連結)貸借対照表計上額(時価)と取得価額との差額を計上しております。

2. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の信託受益権を含めております。

※なお、債券及び外国債券については、時価変動リスクを低減する目的でデリバティブ取引による繰延ヘッジを行っており、これらの評価損益は次のとおりです。

(単位：億円)

	2024年12月末	2024年9月末比	2024年9月末
	債券	△565	△170
外国債券	△371	△259	△112
デリバティブ取引(繰延ヘッジ)	395	321	73
評価損益合計	△541	△107	△434

(2) 有価証券関係損益 (単体)

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 (9ヵ月)		2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月)	(参考) 2024年3月期
	前年同期比			
国債等債券損益	△1,487	3,443	△4,931	△5,854
売却益	794	△188	983	1,016
償還益	—	—	—	—
売却損(△)	1,518	△4,173	5,692	6,250
償還損(△)	—	—	—	—
償却(△)	763	540	222	620
株式等関係損益	10,294	1,642	8,651	9,351
売却益	11,242	1,652	9,589	10,466
売却損(△)	947	10	936	1,114
償却(△)	0	△0	1	1

以上